



2026 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 ニッポン高度紙工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 近森 俊二
(コード番号：3891 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経営企画室長 溝渕 安隆
TEL：088-894-2321

2027 年 3 月期 通期連結業績予想の修正ならびに
剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 7 月 31 日に公表いたしました 2027 年 3 月期通期連結業績予想および 2026 年 4 月 24 日に公表いたしました配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2027 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,000	6,000	6,000	4,200	398.23
今回修正予想 (B)	26,000	7,500	7,600	5,500	521.44
増減額 (B－A)	2,000	1,500	1,600	1,300	
増減率 (%)	8.3	25.0	26.7	31.0	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	18,624	3,533	3,707	2,642	250.67

(2) 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間につきましては、当社主力製品のアルミ電解コンデンサ用セパレータにおいて、生成 AI 普及にともなう AI サーバー・データセンター関連等の需要が好調に推移したことに加え、車載や産業機器向けにおいても堅調な動きが見られました。また、機能材は、生成 AI 普及にともなう電力安定化用途等で、海外顧客からの電気二重層キャパシタ用セパレータの受注が旺盛となり、大幅な増加が見られました。これによる売上高の増加にともなう稼働率の向上および生産効率の改善等により、前回予想を上回る水準で推移いたしました。

通期の連結業績予想につきましては、これら足元の状況および今後の見通しを踏まえ、売上高および利益が前回公表予想を上回る見込みとなりましたので、通期連結業績予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正

（1）中間配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2026 年 4 月 24 日公表)	前期実績 (2026 年 3 月期)
基 準 日	2026 年 9 月 30 日	同左	2025 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	80 円 00 銭	55 円 00 銭	40 円 00 銭
配 当 金 の 総 額	843 百万円	—	421 百万円
効 力 発 生 日	2026 年 12 月 2 日	—	2025 年 12 月 2 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想修正の内容

	年間配当金（円）		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
前回予想 (2026 年 4 月 24 日)	—	55 円 00 銭	110 円 00 銭
今回修正予想	—	80 円 00 銭	160 円 00 銭
当期実績	80 円 00 銭	—	—
前期実績 (2026 年 3 月期)	40 円 00 銭	50 円 00 銭	90 円 00 銭

（3）修正の理由

当社は、グローバルニッチトップ企業として、お客さまへの安定供給体制の確保と積極的な研究開発および設備投資のため、資本収益性を意識した経営を進めるとともに、株主の皆さまへの安定した利益還元および資本効率の向上を重視しており、連結配当性向は40%を目標とし、連結株主資本配当率（DOE）は3%を下限として、利益還元の充実および安定した配当を実施することを基本方針としております。

上記の方針および足元の財務状況、今後の見通し等を総合的に勘案した結果、中間配当を前回予想から1株につき25円増配した80円とするとともに、期末配当予想についても前回予想から1株につき25円増配した80円に修正することといたしました。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上